

別記様式7号 大規模茶産地モデル形成プラン

1 主要課題の解決に向けて取り組む内容

ア スマート技術導入等による飛躍的な生産性向上

現状と課題	
目標年度において 目指す姿	
取組内容(注1)	

○○○○○○○○(注2)		設定の考え方(注3)	事後の検証方法
現状値(○年度)	目標値(○年度)		

注1: 目標年度までの取組を可能な限り時系列に沿って記載すること。

(例: 事業実施年度に○○を行い、1年後に○○、2年後に○○を実施する等)

注2: 数値や数量、割合などで具体的に示すことができる定量的な目標を1つ以上設定すること。

注3: 現状を明らかにし、どのような取組を行うことにより、具体的にどの程度の効果が期待され、その結果としてどの程度計画を達成できるかを記入すること。

注4: 適宜、行を追加すること。

イ 茶関連産業等と連携した労働力確保

現状と課題	
目標年度において 目指す姿	
取組内容(注1)	

〇〇〇〇〇〇〇(注2)		設定の考え方(注3)	事後の検証方法
現状値(〇年度)	目標値(〇年度)		

注1:目標年度までの取組を可能な限り時系列に沿って記載すること。

(例:事業実施年度に〇〇を行い、1年後に〇〇、2年後に〇〇を実施する等)

注2:数値や数量、割合などで具体的に示すことができる定量的な目標を1つ以上設定すること。

注3:現状を明らかにし、どのような取組を行うことにより、具体的にどの程度の効果が期待され、その結果としてどの程度計画を達成できるかを記入すること。

注4:適宜、行を追加すること。

ウ 茶工場の省エネルギー化

現状と課題	
目標年度において 目指す姿	
取組内容(注1)	

〇〇〇〇〇〇〇(注2)		設定の考え方(注3)	事後の検証方法
現状値(〇年度)	目標値(〇年度)		

注1:目標年度までの取組を可能な限り時系列に沿って記載すること。

(例:事業実施年度に〇〇を行い、1年後に〇〇、2年後に〇〇を実施する等)

注2:数値や数量、割合などで具体的に示すことができる定量的な目標を1つ以上設定すること。

注3:現状を明らかにし、どのような取組を行うことにより、具体的にどの程度の効果が期待され、その結果としてどの程度計画を達成できるかを記入すること。

注4:適宜、行を追加すること。

2 目標年度における達成状況(自己評価。本項目は評価報告書作成時に記載すること。)

項目	目標値	実績値	自己評価	要因分析
ア スマート技術導入等による飛躍的な生産性向上				
イ 茶関連産業等と連携した労働力確保				
ウ 茶工場の省エネルギー化				

注:適宜、行を追加すること。